

第9期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

部 会 名	社会参加・就労支援部会
開 催 日 時	令和 7年 11月 21日 ・ 18:00 ~ 19:00
記録担当委員	村松 広美

【協議概要】

配布資料：なし

1 前回の振り返り

- 選択就労支援のサービス運用にあたってのポイントとなることを確認
- 計画相談事業者にオブザーバー参加してもらい、意見を聴取した。
- 就労選択支援のサービス運用にあたり課題となる点について確認

2 本日の確認事項、主な意見

- 事業の内容自体は就労移行支援と大きな違いはないと感じる。そこにどこまで意思決定支援の考え方を落とし込めるか。
- 都内 20 か所、多摩では 3 か所開設しているが、特支の卒業生を全員受け入れるというキャパシティはない。都が開設を促すために基準緩和を行っているが、それでも採算は合わず、当初参入を検討していた営利法人はほぼ撤退している。
- 計画相談と伴走（就労継続支援）を分ける方が良いのか。計画相談自体の数が足りなくなっている本市では、なかなか対応が難しい。A型、B型事業所と併設しているところが担い手になるか、又は市が担うということもある。市が担い手になるとすれば障害者センターや就労支援センターが中心になるのではないか。既存センターが担い手になるということは共通認識であると思う。
- 就労支援センターはスペースの問題でなかなか参入は難しい。
- 実際に対応する職員が非常勤職員ではボリュームに対応できない。専門職があれば、就労支援センターが担い手としての資格は十分と思う。
- 市が主導している自治体は区部では例があるが、市部にはない。
- どこにやってもらうか、センター的なものを作るのか、仕組みを作つてやるのか、市のサービス事務所「こころ」は市内の事に一番詳しい。既存のセンターこころに出来ればお願ひしたい。

3 次回開催

令和 8 年 1 月 21 日 (水) 17:00~